



3学期が始まりました！～始業式「校長先生のお話」より～ 一部抜粋

3学期、1・2年生のみなさんにとっては学年の総まとめとなる学期、3年生のみなさんにとっては義務教育最後の学期となります。ぜひ、3月、自分が理想とする姿をしっかりとイメージし、その姿に近づけるよう自らを成長させてください。

ところでみなさんは「ハチドリのひとしづく」という話を聞いたことがありますか。5、6年前に「永久の海へ」というテレビ番組の中で紹介されていた話です。番組は、現在地球温暖化と並んで人類共通の大問題となっている海洋プラスチックゴミについて、真剣に考え行動している富山の高校生や若い研究者達を取材したドキュメンタリーです。番組を見ていて、私も過去に参加した海岸清掃で、海洋プラスチックゴミの深刻さに驚いたことを思い出しました。浜全体に発泡スチロールやペットボトル等のプラスチックゴミが散乱しているだけでなく、発泡スチロールやペットボトルが波で細かく碎かれ、小さな粒となって砂と混じり合っているのです。ブルドーザーでは決して取り除くことのできないその小ささに、魚を通して人体にも悪影響を与えるマイクロプラスチックの恐ろしさを、強く感じました。

私達は、この海洋プラスチックゴミや地球温暖化等の人類全体の問題に対して、どうあるべきなのでしょうか。問題が大きすぎるからといって見過ごし、人任せにしていてよいのでしょうか。

アンデス地方に伝わる「ハチドリのひとしづく」の話は、このことへの一つの答えを示してくれています。全文を読んでみます。

森が燃えていました。森の生きものたちは、われ先にと逃げていきました。

でもクリキンディという名のハチドリだけは、いったりきたり、

口ばして水のしづくを一滴ずつ運んでは、火の上に落としていきます。

動物たちがそれを見て「そんなことをして、いったい何になるんだ」といって笑います。

クリキンディはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ」



話はこれで終わりです。ご存じの通り、ハチドリは、体長10センチに満たないほどの小さな鳥。私達一人一人も、地球全体から見ればハチドリのような小さな存在です。しかし、森の動物たち全員が力を合わせたら、たくさんの水を運ぶことができるかもしれないよう、私達一人一人も、力を合わせれば、危機に瀕している地球を救うことができるかもしれないのです。大切なことは、問題を他人事にせず、自分にできることを考え、実際に行動に移すこと。そして、「自分に何ができるのか」を自己に問い合わせ、考え続けることです。



私達が学校で学ぶ意味もまた、そこにあります。授業や家庭学習、新聞・読書を通して世の中の真実を知り、知識や知恵、様々な技能、健健康な体等、社会全体の幸福のために貢献できる力を身に付けること。その一人一人の努力が、将来、世の中を変えていく力となるのです。

今学期も、全校生徒・教職員が心を合わせ、大きな志を抱いて、共に成長していきましょう。

校内書初大会 1月8日(木)

始業式後に、校内書初大会を行いました。国語科の授業や家庭で練習を積み重ねてきた成果を存分に発揮しようと、一人一人が真剣な表情で臨み、素晴らしい作品が廊下に並びました。1年生は「伝統芸能」、2年生は「文学の地」、3年生は「初志貫徹」を、楷書、行書のそれぞれの筆の運びに注意して書き上げました。



小・中スキー学習 1月16日(金) ♪小・中連携♪

1・2年生は、牛岳温泉スキー場で小・中合同のスキー学習に取り組みました。天候にも恵まれ、青空が広がる中、それぞれが心地よい汗を流すことができました。インストラクターの方々の指導の下、今年はスキー班とスノーボード班の2つの班に分かれ、それぞれの技能に応じて楽しみながら学習に取り組み、技術のレベルアップを図りました。また、小学生の模範となるようマナーや安全を意識し、班で協力して中学生らしい行動をとるなど、参加者全員が目当てを達成できた有意義な1日になりました。



3月の主な予定

5日(木)・6日(金)県立一般入試

10日(火)卒業を祝う会

11日(水)卒業式予行練習

12日(木)第79回卒業証書授与式(給食なし)

17日(火)小学校卒業証書授与式(給食あり)

20日(金)春分の日

24日(火)修了式(3/25~4/7 春休み)

27日(金)小中合同離任式